



Title	鄭鍾冕の『韓国農村社会学原理』への序文
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1963-07-16
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77418
Type	manuscript
Note	1963年 7月 16日。鄭教授は- 7 -京城帝国大学における鈴木門下生。
File Information	B013_02071963716.pdf



[Instructions for use](#)

鄭鐘冕君が「韓國農村社会学原理」を著述して
 公刊すゝ運いになつたことを知り、慶賀に堪え
 ない。けれども、鄭君が学生時代に私の講義に
 加はつていた。私は既に同君の爲に今日あるこ
 とを期待していた。當時私の講義は専ら農村
 社会学に關するものであり、同君と共に韓國
 農村の現地を調査研究した事もある。同君が
 稀に見る秀才であつた事も忘れぬ印象の一
 つである。

本書は、韓國の農村社會の一般性格、農村社會組織、農村と都市との關係、等に關する理解の外に、農村社會調査法や米國農村生活のモノグラフ的調査報告の全譯、其他農村社會の病理的現象にも及んでゐる。農村生活に關する、非常に廣汎にして多岐^たな問題が取扱はれてゐる。今少しく研究分野を整理する事は、望ましいと思はれるが、啓蒙の必要な事情等があるのであらう。

この書日の公刊により、韓日農村の社會学的研

究が鼓舞され立派な研究が次ぎ／＼に現はれ
 了であらうことを期待していよ。何よりうれ
 しいのは、此書が韓國農村の生活に關する正し
 い理解を深め韓國農民の生活に幸福を増し
 行く事に役に立つものであると信じていよこと
 である。

一九六三、七、一六、

日本東京にて

鈴木榮太郎識